

要請番号（JL52416B15）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マラウイ	H133 感染症・エイズ対策		グループ型	交替2代目	2年	・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

保健省

2) 配属機関名（日本語）

ムジンバ県北部保健事務所 ムズズ・アーバンヘルスセンター

3) 任地（ムジンバ県ムズズ市） JICA事務所の所在地（リロングウェ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 5.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

ムズズ・アーバンヘルスセンターはムズズ市の中心部に位置し、地域住民約20万人に対して外来診療、産科、エイズの検査・治療といった医療サービスを提供すると共に、乳幼児の発育測定と予防接種、住民への健康教育といった地域保健活動も行っている。ムジンバ県北部保健事務所が管轄する23のヘルスセンターの一つであり、重症患者はムズズ中央病院に移送される。県北部保健事務所全体としての年間予算は約200万ドル。エイズ対策グループ型派遣として、現在、同県南部ではJV4名、北部ではJV2名が活動中。また、本配属先を含む同県北部では、2016年より公衆衛生グループ型派遣のJVを派遣予定である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ムジンバは全国でも最も面積が広い県である。広大な地域に人口が散在しているため交通・情報通信に困難があり、行政によるサービスを末端まで浸透させることが難しい。また他の地域と比較して内外援助機関による支援も手薄である。そのため、既存の地域住民組織(CBO)の運営能力を強化し、住民自らが主体的にHIV/エイズの予防啓発、陽性者に対するサポート等を行えるようになることを目的とし、グループ型派遣が2007年に開始された。現在は県南部の村落4地域で感染症・エイズ対策JVが活動中であり、学校における性教育やコミュニティでの予防啓発等を行っている。その活動をさらに同県北部地域へ拡大するため、2016年より初代JVが活動を開始したが、活性化にはさらに時間を要することから後任が要請された。県内には、公衆衛生(グループ型)、薬剤師、コミュニティ開発等のJVも派遣されており、連携が期待される。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先のスタッフ及び地域のCBOメンバー等と協力して、以下の活動を行う。また、グループ型派遣の一員として近隣地域のJVと連携して活動し、相乗効果を発揮させる。

1. 地域住民を対象に、HIV/エイズ対策活動(予防啓発、性教育、陽性者ケア等)の活性化を図る。
2. 地域の学校を巡回し、学校生徒を対象に感染症・エイズ予防のための性教育を行う。
3. ヘルスセンターと学校、地域の行政官、CBO、NGO等との連携を強化する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

【同僚】

医療助手 男性 1名(40代)、看護師 女性1名

薬局スタッフ 男性 1名(40代)
ヘルスワーカー (HSA) 12名(高卒レベル、20～50代)
※カウンターパート—HTCカウンセラー(男性、40代、短大卒レベル)
【活動対象者】地域住民、学校生徒など

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性
単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（10～30℃位） [電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】